

「JAたかさき」によようこそ!



高崎市は、関東地方と信越地方を結び、国道・高速道路や新幹線の分岐点となっていて、交通と産業の要所として古くから栄え、現在でも群馬県一の商業都市となっています。

また終戦直後から、市民オーケストラの“群馬交響楽団”が活動するなど、文化と芸術の香る都市でもあります。

平成21年6月に周辺6町村と合併して、現在では人口が36万人を越え県下一番になり、緑豊かな森林を含めた面積は459.16平方kmと、従来からの文化的で近代的な都市機能に加えて、豊かな自然も備えた都市となりました。

JAたかさき管内は、この緑豊かな高崎市の東南部に位置し、上毛三山（榛名山・妙義山・赤城山）の一つである榛名山を背後にした、関東平野北端の関東ローム層に覆われた肥沃な土壌で、様々な農作物が生産されています。

主な農産物は、米（ゆめまつり）、小麦（きぬの波・さとのそら）をはじめとして、トマト・チンゲン菜・茄子・玉ネギ・ブロッコリーなどの野菜や、桃・梨等の果樹、舞茸・椎茸などの林産物、そして酪農や牛・豚等の畜産が盛んに行われています。

JAたかさきは、平成5年3月に2JAの合併により誕生して、さらに平成15年3月に1JAを合併して現在に至ります。



令和6年3月25日に
オープンした高崎南支店

JAたかさきの概要（2024年2月末現在）

○ 設立（合併）	1993年3月1日
○ 出 資 金	20億9110万円
○ 代 表 者	代表理事組合長 五十嵐 俊介（令和6年6月より）
○ 組 合 員 数	15,150人（正組合員数4,019人、准組合員数11,131人）
○ 職 員 数	正職員163人 嘱託・臨時・パート職員85人 合計248人
○ 施設設置数	本店、支店（8支店）、カントリーエレベーター（2基） ライスセンター（3基）、水稻育苗施設、直売所（3カ所） 営農センター（2カ所）、野菜センター、自動車整備工場（オートパル） LPG・食材センター
○ 子 会 社 等	（株）JAファームたかさき
○ 販売品取扱高	17億2千万円
○ 購買品取扱高	15億7千万円
○ 貯 金 残 高	1229億9千万円
○ 貸 出 金 残 高	311億3千万円
○ 長期共済保有高	2828億3千万



◇販売事業・購買事業の案内◇

○地場産農産物の販売促進

直売所“グル米四季菜館”において消費者へのPR活動と地場産農産物の販売促進をしています。直売所は「安全・安心・新鮮な農産物」の消費者への提供と、小規模な生産者には少量・多品目の野菜を出荷する場でもあります。同時に、新規就農者や定年帰農者などの掘り起こしや対応も実施しています。



○学校給食へ農畜産物の供給

学校給食へ高崎産米の“特別栽培米ゆめまつり”や野菜、農産加工品「高崎ソース」などを供給し、食育にも積極的に取り組んでいます。

また、農産物収穫体験等を実施して、地域住民へ農業の理解と交流を深める活動を実施しています。



玉ねぎ収穫体験



朝市会春の感謝祭

○高崎で育った農産物を使用した加工品

原材料に高崎で生産された農産物(米・小麦・トマト・玉ねぎ)を使用した、農産加工品を“かたらい高崎シリーズ”と名付けて、直売所・百貨店・高崎駅売店などで販売して、好評を得ています。

“かたらい高崎シリーズ”商品の紹介

□高崎うどん□

厳選された高崎産小麦(きぬの波)を使用しています。

□高崎生パスタ□

目の前に広がる麦畑から高崎産小麦「きぬの波」100%使用の生パスタが出来ました。

原材料は、小麦、卵、塩だけです。安心、安全、美味しさを吟味したら、すべて国産材料になりました。

また高崎生パスタは、日本農業新聞「第19回一村逸品大賞」で大賞を受賞しました。



かたらい高崎シリーズの商品

高崎生パスタ贈呈
(首相官邸)



JAたかさきでは、オリジナル商品(高崎うどん・高崎ソース・高崎生パスタ等)の宣伝、イメージアップと消費拡大のため、各種イベントに積極的に参加しています。